未来に向かい、住みよい村づくりを！

新篠津村議会議長
石塚　隆

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

村民の皆様には、常日頃から議会運営に対し、深いご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、一昨年と同様に大雪に見舞われ、毎日除雪作業等のスタートとなりました。

国内でも、夏から秋にかけて異常気象が原因なのか、猛暑や経験したことのない大雨等により、大きな被害をもたらしました。地震も含め、今後いつ災害が起きるかわからないため、防災訓練や個々の防災意識をしっかり持っていかなければいけないと感じています。

経済においては、国の借金が初めて１０００兆円を突破した財政状況の中、消費税が4月より8㌫に上がることになります。

また、昨年は円安による物価上昇の関係もあり、北海道電力電気料金が7.73㌫値上がりしました。

我々消費者にかかる負担が多くなり、先行きが不安になります。

わが村の基幹産業である農業は今、ＴＰＰ問題や減反廃止問題で揺れています。ＴＰＰ問題では農業として、米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物の重要5品目は関税撤廃をしないよう求め、交渉中ですが、どのようになるかは不透明です。

減反廃止については、17年度を最後に減反補助金の廃止に向けて、国で調整をしており、実施されれば、経営に大きな影響を与えます。

両問題については、これから注視していかなければいけません。

スポーツでは、２０２０年夏季オリンピックが65年ぶりに東京で開催されることになりました。スポーツをしている人はもとより、日本経済にもかなり影響を与えると思われますので、明るい話題のひとつになりました。

村では、本村出身の五十嵐竜太郎君が小樽の北照高校野球部で春と夏の甲子園に出場し、レギュラーとして活躍。子どもたちに勇気と感動を与えました。

また、岩見沢の高校に通う大代祥也君が写真甲子園で全国大会に出場するなど、新篠津の中学校を卒業した生徒たちは、それぞれの場所で頑張っています。

昨年3月には、議会改革の一環でもある議会と住民との懇談会を開催し、議会の活動報告や住民との意見交換を行いました。当初予定していた時間が足りなくなるほど活発な意見交換であり、今後も多くの住民と意見交換を行いたいので、今年も開催する予定でいます。

新篠津村まちづくり総合計画の後期基本計画が今年策定されます。

私たち議会議員が村民代表として、行政に対し、しっかりと目を向け、今後も住みよい村づくりをすべく、議会運営を進めて参ります。

村民の皆様におかれましては、ご健康で益々のご活躍を心より御祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

謹賀新年

議長	石塚　隆
副議長	高橋　至
議員	馬渕　誠二
	今田　義春
	藤永　康夫
	岡　泰一
	媚山　哲雄
	髙井　博美
事務局長	小林　幸二
	他職員一同